

世の中になく新しいものを作る仕事。  
自分のアイデアをいかし、



チャレンジ精神を  
忘れずに!!

吉田 将也さん(1993年生まれ)

名古屋市立北高校 出身

名城大学大学院 理工学研究科卒業

ヤマザキマザック株式会社

丹羽郡大口町竹田1-131

<https://www.mazak.jp/>

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→大学に進学し、製図や機械設計、力学の基礎を学ぶ→工作機械を設計・生産する企業に就職→設計を担当

— 学生時代

「高校時代は、暇さえあれば趣味のバルーンアートに没頭していました。社会人になつたいまでも、作ったバルーンアートを上司に配ったり笑、幼稚園へ作品を作りに行ったりしています。バルーンアートの可能性は、組み合わせ次第で無限大。当時からもっていた『自分で新しいものを作りたい』という思いは、いまの設計の仕事にもつながっているかもしれません。高校卒業後は名城大学に進学し、機械のプログラムや四力学について学びました」

現在の仕事内容を教えてください。

「まだ世の中になく、新しいものを作ることが設計の仕事です。現在は旋盤の設計を行う部署にあり、主に『コストダウン』『省スペース』の提案をおこなっています。流れとしては、『いまの機械と同じスペースでサイズを小さくしたい』など、お客様の声を聞いてどれだけ要望に沿った機械を開発できるのか構想を練ります。アイデアをもとに試作機を作り、不具合が出たところをみながら試行錯誤して解消していきます。最終形が出来上がっていきます」

現在の仕事をめざした経緯は?

「祖父が営む町工場で工作機械を見る機会があり、幼いころからこの業界に興味をもっていました。高校生のときに工作機械の展示ショーに行つたのですが、子供のころに見た工作機械とは違い、自動で動く進化した工作機械に感動したことを覚えていています。それ以来、工作機械の進化に携わりたいと思うようになりました。それがヤマザキマザックの設計を志望したきっかけです」

— 仕事について

「入社後、座学で工作機械の基礎や会社のルールなどを学びました。その後、工作機械を分解して中身の構造を勉強したり、機械の組み立て作業を経験したりしました。現在入社3年目ですが、いまもまだ下積みの中で、毎日知らないことの連続で、先輩からアドバイスをいただいたり、大学時代の教科書で調べたりしながら経験を積んでいます」

— やりがい

「設計した部品や機構がカタチになり、想像した通りに動いたときに達成感を感じます。ある程度は自分の裁量で部品の形状や機能を工作機械に盛り込むことができるので、とてもやりがいのある仕事です」

— なるためには

「高校卒業後、大学の機械システム関係の学部に進学し、製図や機械設計、力学の基礎を学ぶのが王道です。いまやっている設計の仕事は、社会に出て経験を積みながら学ぶ知識が多いですが、その根本には高校で勉強する化学や物理、数学の知識が関わっています。なので、設計の仕事をめざす高校生のみならずは日々の勉強を頑張ってください。大切なのは、試験に合格するための勉強ではなく、将来の自分のための勉強ですよ!」

忙しいところ、ありがとうございました。



自分探

17歳 工作機械の展示ショーに感動し、工作機械の設計を志す。

18歳 名城大学に進学し、機械のプログラムや四力学などを学ぶ。

24歳 ヤマザキマザックに就職し、旋盤の設計を担当。失敗を恐れずに挑戦を続ける日々。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



自国の文化を海外に発信できる人、  
それが私の理想とする国際人。



私は私!!

長屋 愛さん (1989年生まれ)

桜花学園高校 出身 玉川大学 文学部卒業

株式会社僕らのゆめ  
bokuranoyume next trip

名古屋市長区東桜1-10-29 パークサイドビル栄 B1  
https://www.bokuranoyume.com/

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 海外生活を体験→高校卒業→大学に進学→着物を販売する企業に就職→着物アドバイザー

— 学生時代

「印象に残っているのは、高校生のときにオーストラリアへ留学をしたことです。同じ学校に留学していた同級生が現地の子よりもいい点数をとっているのを見て、「失敗をまわりの環境のせいにするのは違う」という思いが芽生えました。その子がいなかったら、日本人だから仕方がないという甘えが出ていた気がします。海外生活を通して、日本文化がいかに世界で評価されているのかを知り、自国の文化を海外に発信できる人になりたいと思うようになりまし。それが私の理想とする国際人だと気づいたんです」

— 仕事について

「日本文化に携わって長く活躍できる場所を探し、bokuranoyume next trip に就職しました。面接をしてくれた専務がおもしろかったことや、おしゃれな着物がたくさんあって働いている人たちが輝いて見えたのも惹かれたポイントです。最初は、着物の知識よりもお客様との接し方について教わりまし。まずはお店のファンを増やすことが大切。着物の種類や格、生地、染め方や柄についてなど、業界の知識は仕事をしながら覚えていく感じですね。働くなかで感じたのは、着物って想像以上にいろんなところに着ていけるものなんだということ。もっとファッション感覚で着ていけばよかったですね」と

現在の仕事内容を教えてください。  
「着物の捉え方って、人によって異なるので、お客様から『いままで趣味がなかったから着物に出会えて本当によかった。ありがと〜』と言われたときはうれしかったですね。『着物でこへ行ったよ』って写真を送ってくれるので、そんなお客様とのやりとりもやりがいにつながっています。お客様との距離が近いのもこのお店の魅力。なかなかそういう業界って少ないと思うので、着物という共通点で輪が広がっていくすてきなお店だと思います」



— なるためには

「いろんなお客様と長い時間を一緒に過ごすので、着物に限らずいろんな知識をもっていると話をするうえで役立つと思います。いろんなことに興味をもつて世界を広げてください。私は、アニメから音楽、歌舞伎、ミュージカルなど本場にいろんなジャンルに興味があります。みなさんも、ひとつのことに集中して知識をつけるのではなく、自分のコミュニケーションを広げてください。自分と違う環境の人たちとの関わりを増やすことも視野を広げるうえで大切だと思いますよ」



海外経験

17歳 オーストラリアへの語学留学を経験し、多様な価値観を養う。

27歳 グランドスタッフなどの仕事をを経て、株式会社僕らのゆめに就職。

31歳 常に笑顔心がけ、着物や日本文化の魅力を発信!

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



交通安全についての講話を実施し、交通事故を未然に防ぐ。



長江 菖子 さん(1994年生まれ)

同朋高校 出身

名城大学 法学部卒業

愛知県警察 蟹江警察署

愛知県海部郡蟹江町富吉3丁目225番地

<https://www.pref.aichi.jp/police/>

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校を卒業→大学へ進学(公務員試験対策講座を受講)→警察官採用試験に合格→警察学校に入校→一番勤務を経験→交通課に配属

— 学生時代

「高校時代は、ソフトボール部に入部し、3年間ずっと部活漬けの日々でした。初めは部員が少なく、男子ソフトボール部と一緒に練習をしていましたが、徐々に部員も増えていき、最後の大会では勝つことができました。部活を通して精神的にも大きく成長できたと思います。高校卒業後は、名城大学法学部に進学しました。大学3年生のときに、「警察官の父親はどんな仕事をしているんだろう?」と興味を持ったことと、私が小学生の頃に交通事故にあつた経験から、警察官になつて交通事故を減らしたいと思ひ立ち、警察官を志望しました」

— 仕事について

「警察官として採用されると、まず警察学校に入校します。ここでは、警察官としての基礎を学ぶことになりませんが、私はそれ以外にも自己管理や忍耐、人間力について学ぶことができたと思っています。警察学校では、機動隊の装備を付けて、「終わり」と言われるまで走り続ける訓練が特に辛かった思い出ですが、様々な訓練を通じて、目の前の出来事へ必死に取り組む姿勢が育まれたと思います。警察学校を卒業後、2年半ほど交番で勤務をしました。その際、先輩の警察官からは、「市民にとっては、新人もベテランも関係なく同じ警察官だ」とよく言われました。先輩とは同じ対応はできなくても、常に警察官としてどう行動するべきかを自分なりに考



えて勤務をしています」

現在の仕事内容を教えてください。

「現在は交通課に配属されています。私の仕事は、交通事故をなくすることです。蟹江警察署の交通課は、交通総務係、指導取締係、事故捜査係に分かれており、私は交通総務係で働いています。免許の更新窓口の対応、視力検査や免許写真の撮影などを担当しています。あとは、学校などで行う交通安全についての講話も重要な仕事です。蟹江警察署の管内では、自転車で行動する学生が多いので、自転車のマナーやルールに関する講話をすることが多いです」

— やりがい

「交通事故に直結する交通違反を取り締まることで、ドライバーの意識が変わり、1件でも交通事故を減らすことに貢献できることにやりがいを感じます。ドライバーの「これから気をつけます」という言葉に、明日からも頑張ろうと元気をもらっています。警察官というつかつかつこいい男性警察官をイメージする方が多いと思いますが、女性被害者の対応など女性警察官だからこそ活躍できる場所もたくさんあります」

— なるためには

「採用試験の対策は、参考書で勉強したり、専門学校で勉強したりするなど、人によって違いますが、私は大学の公務員講座を受けて勉強しました。学生時代は、いろいろな人と接する機会を増やして視野を広げてください。警察官の仕事は、コミュニケーション能力がとても大切になります。学校のクラス内の世界だけでなく、別のクラスの同級生とも仲良くなって輪を広げると、高校生活がより楽しくなると思います。勉強はもちろん、色々なことに挑戦してください!」

ありがとうございます。



18歳 部活漬けの高校生活。部活を通し、メンタル面が鍛えられる。

22歳 警察官だった父親の影響もあり、自身も同じ道へ。警察官採用試験に合格。

26歳 交通課に配属。免許更新の対応や交通安全についての講話を行う。

先輩のインタビューをもっと見た方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



お客様に快適な時間を過ごしてもらおう。  
 アットホームなサービスを心がけ、



1分1秒を大切に!!

島浦 純綺さん (1994年生まれ)

名古屋経済大学高蔵高校 出身

愛知学院大学 文学部グローバル英語学科卒業

株式会社名古屋観光ホテル

名古屋市中区錦1-19-30

<https://www.nagoyakankohotel.co.jp/>

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→大学に進学し、語学や海外文化を学ぶ→ホテルに就職→ロビーサービスに配属

— 学生時代

「バスケットボール部に所属し、高校時代は部活に打ち込んでいました。負けていても最後まであきらめないがむしろな気が身についていたと思います。洋楽が好きだったことや英語の成績がよかったこともあり、愛知学院大学グローバル英語学科に進学しました」

大学時代について教えてください。

「語学以外にも、海外の生活文化や歴史、情勢、先住民の歴史などを学びました。いまはコロナ禍で海外のお客様はいませんが、海外の人と接する機会が多い職場なので、言葉だけでなく海外文化を学んだことは間接的に役立っています。あとはグループワークが多かったので、緊張しやすく人見知りの性格を少しは克服ができた気がします。社交的になりました。就職活動では、自分の好きなことを軸にしました。旅行に行ったりときにウキウキしてホテルに泊まった子供のころの記憶。その楽しかった思い出から、名古屋観光ホテルに就職しました」

— 仕事について

「入社後、レストラン、宴会部門、ロビーサービスなどの部署をローテーションして3ヶ月くらいかけて回りました。とにかく言われ続けていたのは「姿勢よく、元氣よく」ということ。それはいまも変わらず意識しています」

研修後、最初に任される仕事は?

「ロビーサービスに配属され、最初は先輩についてもらい仕事を覚え



いきます。スーツケースを持っていくお客様へ積極的に声をかけたりと、言われる前に察して動くことの大切さを教わりました」

現在の仕事内容を教えてください。

「ロビーでの接客全般が私の仕事。チェックインやチェックアウトの対応、タクシーの手配などもおこないます。お部屋まで荷物をお運びして案内したり、快適な時間を過ごしていただくための気配りを大切にしています。ホテルという、かしまった固いイメージをもたれてしまいがちなので、気軽に話しかけていただけるようなアットホームなサービスも心がけています。イベントや観光地、オススメのお店に関する問い合わせも多いので、日々勉強しながらご案内しています」

— やりがい

「お客様の顔を覚えることが大事な仕事なのですが、逆にお客様に顔を覚えていただき、『いつもありがとう』『もつといい接客、提案があったのでは?』と常に考え、今後は一つひとつのサービスの質を上げていきたいと思っています」

— なるためには

「特に必要な資格はありません。資格よりも、お客様のために思いやりをもって動ける気持が大切な仕事です。あとは、相手に威圧感を与えないよう一呼吸おいて自然体でいることも大切です。私の場合は、高校時代の部活を通して『ありがとう』などの感謝の言葉、あいさつの大切さを学び、人間力を向上させてもらいました。部活に限らず、家族や友達とのやりとりなどを通して、感謝の気持ちや思いやりの大切さを学んでおいてほしいですね」

お忙しいところ、ありがとうございます。



海外  
就職

18歳 部活を通し、あきらめない気持ち、感謝の気持ちを育む。

22歳 愛知学院大学に進学し、語学や海外文化について学ぶ。

26歳 快適な時間をホテルで過ごしてもらったため、アットホームなサービスに心がける。

先輩のインタビューをもっと見た方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



「偏見のないあたたかい保育がしたい」という思いが留学を通して芽生える。



誇れることを見つけよう!

伊藤 花梨さん(1994年生まれ)

愛知商業高校 出身

中部大学 現代教育学部幼児教育学科卒業

名古屋市白金保育園

名古屋市昭和区 白金1-20-24

なるためには

- 必要資格 / 保育士、幼稚園教諭
- 主な進路 / 高校卒業→保育士の養成課程がある専門学校、短大、大学に進学→保育士資格、幼稚園教諭免許を取得→保育園に勤務

——学生時代

「盛り上げることが好きな私の性格に合っている」と思い、この仕事を志しました。保育だけでなく幅広い分野を学びたいと思い、総合大学の中部大学に進学しました。座学では子どもの気持ちの成長や変化などを学ぶ発達心理学の講義がおもしろかったです。グループで立体の箱づくりや絵本づくりをしました。造形の講義で習った表現技法は仕事でも役立つと思います。初めての實習では、けんかの仲裁にうまく入れずあたふたしていただけでした…。でも経験を積むことで、両方の言い分を聞き、子どもの年齢に合った柔軟な対応ができるようになりました」

「**在学中に留学もしたんですよね?**」

「留学システムが整っているところに惹かれたのも中部大学に進学した理由のひとつです。オックスフォード大学へ語学留学したり、オーストラリアへ短期留学して幼稚園のボランティアに参加したりしました。特にオーストラリアの幼稚園には、いろんな国籍や宗教の子どもがいました。先生たちが一人一人を受け止め保育をしている姿を見て、一人一人違っていいんだということを改めて実感しました。『偏見のないあたたかい保育がしたい』という思いが芽生えたのも留学経験を通してです」

——仕事について

「保育士は、指導する立場ではなく、一緒に学んで成長していく存在だと思います。子どもだけが変わって



いくのではなく、自分も変わっていかないとけません。子どもたちが生活習慣を身につけ、自己肯定感をもって自分らしくいられるように一人一人のいいところを見つけてあげられる役割になりたいです」

「**心がけていることは?**」

「自分自身が全力で楽しんでいなければ子どもも楽しくないはず。私が楽しそうにしているから、子どもたちもついてきてくれることを実感しています。そのためにも、決められた活動をただするのではなく、ワクワク感や期待感をもって取り組めるような工夫をしています」

——やりがい

「大人では思いつかないようなアイデアや遊び方を子どもたちのほうから教えてくれます。ほかにも日々、小さな成長を見られることも多く、私自身も楽しいです。園児の中には、家庭よりも園で過ごしている時間のほうが長い子もいます。保護者の方から『こんなこともできるよっ!』と言葉をかけてもらったり、子どもの成長を共有できたと感じられ、がんばってやってきて良かったなと思います」

——なるためには

「まずは、**保育士資格、幼稚園教諭免許**を取得することですね。私は視野を広げているんな分野の勉強がしたかったので、総合大学を選びました。いまでも、いろんなことを学ぶ機会があった中部大学を選んでよかったと思っています。みなさんも自分の意思で動いて、後悔のない学生生活を送ってください。私の高校時代は、ハンドボール部に入り、全国大会をめざして練習や合宿に集中した3年間でした。厳しい部活を乗り越えたという経験は、社会に出たいまも自信につながっています」

「**ありがとうございます。**」



海外留学

15歳 部活に熱中した高校時代。厳しい部活を乗り越えた経験が自信に。

18歳 中部大学に進学し、保育以外の分野も積極的に学ぶ。海外留学も経験。

26歳 子どもたちがワクワク感をもって自分らしく成長できるよう、日々の活動に取り組む。

先輩のインタビューをもっと見た方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>





**挫折を経験したことは？**  
 「前のチームに所属していたときのことですが、チームのプレイスタイルと自分の得意なプレーが噛み合わずに悩んだことがあります。自分のやりたいプレーをすると、チームに合わない。チームに合わせると、自分の良さが消えてしまう…。いろいろな面で悩みましたが、チームに所属してサッカーを続けている以上、試合に出てプレーをすることが選手としてまず大事なことでという結論に達しました。チームから自分が求められていることを追及することが大切だと。そのなかで自身の長所を消さずにプレーできる方法を自分なりに考えながらプレーするようにしました」

**サッカー選手の仕事とは？**  
 「個人的な思いですが、応援してくれる人、一緒にプレーをする人など、サッカーを通していままでも出会ってきた人たちに、自分がプレーを続けることで、ポジティブな気持ち届けたいと思っています。環境は違ってもそれぞれのフィールドで切磋琢磨して戦っている仲間たち、自分も頑張ろう！と思ってもらえたらうれしいです」

**1年間のスケジュールを教えてください。**  
 「1月中旬から始動し、個人戦術を中心に基礎的な練習から始まり、3月下旬にリーグ開幕し、それから試合に向けてチーム戦術が中心の練習メニューに。10月ごろまでリーグ戦が続く、終わったら皇杯(全日本女子サッカー選手権大会)があります」

**心がけていることは？**  
 「練習でやっている以上のことを試合では絶対にできません。まずは、どれだけ練習中に自分の納得のいくプレーができるかを意識しています。残って練習するのはなるべく控え、決められた練習時間内で、いかにベストが出せるかを心がけています。あとは、チームワークが大切なスポーツなので、チームのモチベーションを落とさず試合に臨むことが勝利につながります。プレーしているときはもちろん、プレーしていない時間でも、チームメイトとお互いの意思を共有できるように意識しています。練習の間や試合のハーフタイムなど、よくないところをお互いに意見しあって修正したり、ポジティブな声かけやプレーで見せる姿勢も大切にしています」

**やりがい**  
 「やっぱり、私の中でサッカーを通して出会ってきた人たちの存在が大きいんです。一緒に戦っていた人がいまはサッカーを辞めて応援してくれていたたり、違うチームで戦っていた人と同じチームでプレーをすることになったり、サッカーを通してできたつながりが私の財産です。あとは、練習で「こういうプレーをしよう」と話してきたことが試合で実現できたときはうれしいです」

**サッカー選手としてのプレーするには、大会で活躍してスカウトしてもらうか、チームの練習に参加して入団させてもらうか、どちらかの方法があります。高校生へのメッセージ**  
 すね、仲間や応援してくれている人と、よろこびを共有することもやりがいにつながっています」



**市原 理奈**さん(1996年生まれ)  
 中京大学附属中京高校 出身 / 順天堂大学 スポーツ健康科学部卒業



- 10歳** ↓ 兄の影響でサッカーを始める。サッカー人生がスタート。
- 22歳** ↓ 大学でもサッカー漬けの毎日。大学卒業後、大和シルフィードに加入。
- 24歳** ↓ NGUラブリッジ名古屋に移籍。人とのつながりを大切に、サッカーを通してポジティブなメッセージを届ける。

**将来について悩んでいる高校生へ。**  
 「私はサッカーのことしか頭になかったもので、ほかの選択肢が見えていませんでした。視野が狭くなっていったことを少しだけ後悔しています。みなさんは、興味が無いことにも積極的に目を向けることで、いろいろな選択肢をもてるようになってほしいです。やりたいことや明確な目標があることはもちろん大事なことですが、それ以外のことを『自分には関係ない』って切り捨てるのはもったいないですよ。自分の可能性を広げていってください！ありがとうございます」



**YOUTH ユースフラッシュ FLASH**

**名古屋出身の有名人インタビュー**

**中京大学附属中京高校出身のサッカー選手、市原理奈選手を独占取材!**

2011年のFIFA女子ワールドカップで「なでしこジャパン」が初優勝を遂げて以来、女子サッカーに対する注目度も上がってきていると思います。現在、なでしこリーグ1部のNGUラブリッジ名古屋でプレーをする市原選手に、サッカーとの出会い、自分で未来を切り開く秘訣を聞いてきました。

第17弾

**「サッカーとの出会い」**  
 「本格的にチームに入ってサッカーを始めたのは小学3年のときです。よくある話ですが、サッカーをやっていた兄の影響で始めました。そのころは、ずっとサッカーを続けていくなんて考えてもいませんでした。小学校の高学年くらいからは大会に出場していたので、そこからは生活の中心にずっとサッカーがある感じでした」

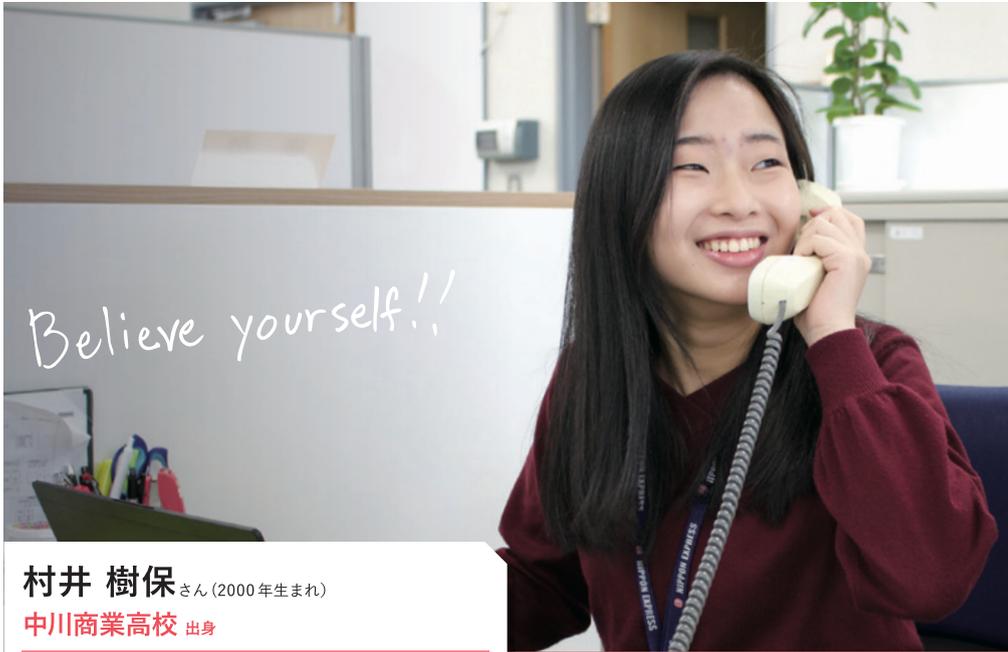
**「サッカーにハマった魅力は？」**  
 「始めたころはできないことばかりなので、リフティングの回数が増えるだけでも楽しかったです。試合を重ねていく中で、少しずつできるプレーが増え、スキルが上達していくのを実感するのが楽しくて仕方なかったです。あとは、いろいろなスポーツがあるなかで、チームのレベルや個人のレベルが必ずしも勝利に結びつかないのがサッカーのおもしろいところ。どれだけレベルの差があっても、ゴール前のアイデアやプレーのひらめき次第で一矢報いることができるんです」

**「高校時代印象に残っている試合はありますか？」**  
 「高校に女子サッカー部がなかったの、ラブリッジ名古屋に所属して社会人に混じってサッカーをやっていました。当時は、先輩のお姉さんたちに必死についていく感じ。中でも印象に残っているのは、なでしこチャレンジリーグ入替戦に出場したときの試合です。同じポジションの尊敬している先輩が、ケガで試合に出られなかったんです」

**「サッカー選手として」**  
 「現在は、ラブリッジ名古屋でプレーしながら、安藤証券で働いています。平日は、午前中に練習をして午後からは仕事。私は総務部に所属されているので、さまざまな書類の処理や郵便物の仕分けなど、事務的な仕事を任されています」

**「サッカー選手と会社員の二足のわらじは大変ではないですか？」**  
 「サッカーしかやってこなかったら絶対に出会わない仕事やまったく知らない世界なので、とても貴重な経験をさせてもらっています。ずっと現役でいられるわけではないので、サッカー選手を引退したあとの自分にとって、絶対にプラスになると思っています」

お客様のニーズに合わせて、貨物を  
 確実にお届けすることが物流の役割。



**村井 樹保**さん(2000年生まれ)  
 中川商業高校 出身

**日本通運株式会社**  
 名古屋市港区西倉町1-49  
<https://www.nittsu.co.jp/>

なるためには  
 ●必要資格 / 特になし  
 ●主な進路 / 高校卒業→物流会社に就職→通関士や貿易実務検定などの資格を取得

— 学生時代

「小学校5年から中学3年までフィリピンに住んでおり、帰国後は高校1年2学期から転入しました。フィリピンでは現地の学校に通っていたので、日本語のブランクがあったことから高校では国語と数学、歴史の教科で取り出し授業を受け、理解ある同級生や先生方に助けていただきました。検定試験は日商簿記2級、情報処理検定1級などを取得。部活では自分の語学力をいかすために英会話部に入部し、英検準1級を取得しています」

— 仕事について

「自分のアイデンティティをいかにせる仕事は何だろうか?」と考えたと、自身の語学力をいかにせる貿易関係の仕事に就きたいと思い、高校卒業後、日本通運株式会社に入社しました。研修を経て最初に学ぶ仕事は輸入手配です。海外の現地のお客様とメールでやりとりをして、日本で通関するために必要な書類を作成します。基本的に書類やメールのやりとりはすべて英語。私たち物流企業はお客様の貨物を運ぶサービスで、この仕事は品質や信頼といった私たちが商品になると先輩から教わりました」

— 仕事内容について教えてください。

「2年目からは、輸出手配を担当しています。輸出は日本のお客様から連絡をいただいた貨物の集荷に伺い、それを倉庫に運んでから梱包やコンテナにパッキングの手配などを依頼。日本の貨物を外国に出す



ために必要な税関の書類も作成しています。この仕事をしていくうえで、人と人がつながっていることを、身近で実感できることが楽しくて、いまの仕事が本当に大好きです。いままではお店で商品を購入しても特に何も思わなかったのですが、物流の仕事に就いてからは、どのようの貨物がこの場所に届くのかがかかるので、「この商品が私の手に届くまでどんな苦労があったのだろう」と思いを馳せてしまいます」

— やりがい

「輸入も輸出も必要な手続きがたくさんあります。私の業務は、それらを出港日までにすべて整える複雑な仕事なので、スケジュール管理が重要になってきます。なぜなら、ひとつでもスケジュールがずれるとお客様の貨物を船に乗せられないからです。ただし、天候によって船の到着が遅れてしまうなどトラブルが発生することもあります。お客様に経過報告をして最後まで仕事をやり切ったあと、「ありがとう」と言われたときにやりがいを感じます」

— なるためには

「私は、得意な英語が海外のお客様とのやりとりに役立っています。入社前に必要な資格はありませんが、通関士や貿易実務検定などの資格をもっていると有利だと思います。当社は資格取得に力を入れていて、試験前は、定期的に勉強会が試験近くまで開催されます。勉強会で学んだことは仕事にいかせるので、私もチャレンジしています。高校生活は、日々真面目に過ごしていれば何事もなく仕事に就けるはず。まわりの人に感謝して、自分の夢に向かって努力してください」



自分探

18歳 英語部に所属、高校卒業後、得意の語学をいかせる日本通運に入社。  
 ↓  
 19歳 研修後に輸入業務を開始。世界中のお客様と英語で取引をする。  
 ↓  
 20歳 社会人2年目は輸出業務に携わる。通関士の資格試験にチャレンジ!

先輩のインタビューをもっと見た方は、WEBサイトへ!  
<http://amb100search.com>



経済の血液といわれる資金面を  
サポートすることが銀行の役割。



若山 頌太 さん (1994年生まれ)

南山高校 出身

南山大学 経営学部卒業

株式会社愛知銀行

名古屋市中区栄3-14-12(本社)

<https://www.aichibank.co.jp/>

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→大学に進学し、経営について学ぶ→内定後、証券外務員を取得→銀行に入行→預金業務を担当→渉外担当

— 学生時代

「中学高校とバスケット部に入り、土日も休むことなく部活に取り組みました。部活を通し、つらいことから逃げない力、忍耐力や集中力が身についたと思います。卒業後、南山大学経営学部に進学しました」

「大学時代について教えてください。」

「大学では簿記や経営、マーケティングに関するところ、会計の基礎を学びました。大学時代に意識したのは、いろんなサークルやコミュニティに参加し、多くの人とコミュニケーションをとること。視野も広がりましたし、人の話を聞く力や話す力が身につきました。就職活動で軸にしたのは、身につけたコミュニケーション能力をいかに活かせる仕事。営業職を志望し、銀行や商社、メーカーなども受けました。最終的に選んだのは、モノではなくお金を扱う銀行。多種多様な社長と話す機会のあるこの仕事は、人間力が磨かれ自身の成長にもつながると感じたことが選んだ決め手です」

— 仕事について

「入行当初、苦労したのは資格の勉強です。内定をいただいた時点から投資信託の販売に必要な証券外務員の勉強が始まり、入行後も銀行業務特定の勉強。決算書や税金、手形小切手法や会社法など、銀行取引をおこなううえで必要な知識を勉強しました。勉強はずっと続いていきます。今後は、簿記やFPの資格も取得し、どんな相談にも高度な提案ができるようになりたいです」



現在の仕事内容を教えてください。

「コロナ禍で改めて、私たちは人々が日常生活を送るために不可欠なエッセンシャルワーカーであることを実感しています。私の担当は、法人向けの営業。経営者が一番頭を悩ませるのが資金繰りです。経済の血液といわれるお金、資金面で融資をしてサポートすることが銀行の役割だと思います。お客様の会社を訪問し、決算書などの資料、経営者の話などから置かれた状況を把握し、抱えている経営課題を想像して資金繰りの提案をおこないます。新たな経営の柱を作る、ビジネスモデルを転換するなど、会社がどう変わっていくかといかないかを一緒に考えてアドバイスすることも大切な仕事のひとつです」

— やりがい

「資金繰りに困っていた会社に融資の提案をし、経営をサポートできたときにやりがいを感じます。お客様から、「ありがとう」という言葉をいただくとうれしいです。数ある銀行の中から、私や愛知銀行を選んでくれることもやりがいです。信頼関係が築けていることを実感します」

— なるためには

「証券外務員など、資格がないとできない仕事もありますが、一番大切なのは、困ったとき自分に声をかけてもらえる信頼関係が築けるかどうか。いかに自分のファン、愛知銀行のファンを作るかが大切です。モノを売る仕事はモノがよければ売れますが、この業界は、より人間力が問われると思いますよ。高校時代は、遊びでも部活でもいいので、いろんなことに取り組んでください。外に出ていろんな経験を。いろんな人と会って話す。すべての経験が社会でいきってきますよ!」

ありがとうございます。



自  
分  
の  
経  
験

18歳

部活に熱中した高校生活。卒業後、南山大学に進学。

22歳

経営や会計の基礎を学ぶ。大学卒業後、愛知銀行に入行。

26歳

渉外担当として、日々、企業を訪問。お客様に寄り添った提案を心がけ、資金面から経営をサポート。

先輩のインタビューをもっと見た方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



公演関係者のみなさんが快適に  
御園座公演を終えられるように支える。



何事にも  
挑戦!!

志牟田 ゆきのさん (1997年生まれ)

愛知芸術高等専修学校 出身  
名古屋芸術大学 音楽学部卒業

株式会社御園座

名古屋市中区栄 1-6-14  
<https://www.misonoza.co.jp/>

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→大学に進学し、照明や音響技術などを学ぶ→劇場に就職→制作部に配属

— 学生時代

「父が楽器をやっていたこともあって音楽に興味をもち、小学生のときからドラムをやっていました。高校ではロックバンドを結成してドラムを担当。オリジナル曲を作って演奏したりしました。自分で考えて自由に行動できる環境があったので、自主性が身につきましたし、いまの仕事にもつながっている部分があると思います。高校卒業後、名古屋芸術大学音楽学部に進学しました。」

「私が選択したのは、エンターテイメントディレクションコース(※)です。楽器演奏や音楽理論についても学びましたし、照明、音響、大道具、舞台美術など、音楽業界の裏方の部分全般についても学ぶことができました。学内学外問わず、いろんな立場の仕事を経験できたことは、御園座で制作として働くいまもいかせています。」

「仕事について」  
「出演者さんやスタッフさんの衣食住を支えることが私たちの仕事。名古屋に来る公演関係者のみなさんが、快適に御園座公演を終えられるよう、さまざまなコーディネートをしていきます。たとえば、希望宿泊ホテルの交渉、タクシーや電車の手配など。お弁当の手配ひとつとっても、好き嫌いやアレルギー、予算やメニューのバリエーションにも気をつけて手配しています。お弁当に飽きないよう新規開拓もしています。あとは、日々の検温管理のとり

「好きなエンターテイメント業界で働けていることにやりがいを感じています。作品に直接的なつながりはないかもしれませんが、自分の仕事で公演を支えていることにも誇りを感じますし、その公演を劇場で楽しんでいく大勢のお客様の姿を見るとやりがいを感じます。今後の目標は、1つの公演を立ち上げてプロデューサーすること。めざすはプロデューサーです! 企画から配役スタッフの手配や予算管理まで自分でおこなえるよう、さまざまな経験を積んでいきたいです。」

— なるためには

「エンターテイメント業界と聞くと、華やかなイメージをもつ人が多いと思います。もちろん華やかな舞台につながってはいますが、想像より地道な努力が求められる世界です。私はこの業界が好きだという気持ちだけで続けてきました。その気持ちがあれば頑張れると思います。高校生のみなさんは、やってみたくて思ったことには全部挑戦するべきだと思います。それをできる期間が学生時代。勉強もできるし、部活動もできるし、遊ぶことも。後悔のない学生生活を送ってください!」

ありがとうございます。



— やりがい

「何を手配するとしても、受け取るのは公演関係者のみなさん。相手がどういう気持ちで受け取ってくれるか、自分が出されたらどう思うか? 相手の立場に立って仕事をすることができています。」

- 18歳 音楽に熱中した高校時代。卒業後、名古屋芸術大学に進学。
- 22歳 照明や音響など、舞台の裏方の業務を学ぶ。卒業後、御園座に就職。
- 23歳 御園座公演を快適に遂行できるよう、出演者やスタッフの衣食住を支える。



先輩のインタビューをもっと見た方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



お客様の要望に対して  
プラスαを実現する営業の仕事。



**織田 貴文**さん(1993年生まれ)  
愛知工業大学名電高校 出身  
愛知工業大学 経営学部卒業

**株式会社VITEック**  
知立市西町宮腰14  
<http://www.vtec2109.co.jp/>

なるためには  
●必要資格 / 特になし  
●主な進路 / 高校卒業→大学に進学→プラスチックファスナーを開発・製造する企業に就職→営業を担当

— 学生時代

「高校時代の思い出は、3年の体育祭のときにクラスで応援の看板を作ったことです。みんなでひとつの作業をすることでクラスの一体感が高まり、クラス全員がとも仲よくなったことを覚えています」

「就職先を選んだ決め手は？」

「会社説明会に参加したとき、社長自ら会社の説明をしていたんです。三河弁でとてもフランクに声をかけてくれたことで、今までの堅苦しい就活のイメージが払拭されました。社長が気さくに話す姿を見たときに、「この社長についていきたい!」「この会社で働きたい!」と思いました。どのような企業が自分に向いているかわからず就活の不安があったのですが、結局はそこで働く「人」にどんな魅力を感じるかが、私にとって重要な要素だと感じました。大学卒業後、プラスチックファスナーを製造するVITEックに就職しました」

— 仕事について

「ちょうど私が入社した年に新しい社屋が竣工し、本社が移転しました。会社としても新しいステップに移った年だったので、その分プレッシャーが大きかったことを覚えています。入社当時は正直、何をすればいいのか右も左もわかっていませんでした。ですが、とにかく与えられた役割以上のことをやってやろうと考えていました。入社当初は経験やスキルがおよばないのは当たり前です。でも、「やってやる!」



「という気持ちで強くもっていれば、きつとどんな仕事でもうまくいくと思いますよ」

現在の仕事内容を教えてください。

「VITEックの営業は、人を動かす仕事です。1台の車には多くの部品が使われています。既存の部品の中で、自社製品としてより品質のいいものを、安く提供できないかを社内のメンバーと模索し、お客様に提案します。そして、お客様の要望を社内にも共有し、決められた納期に対して、スムーズなスケジューリングをします。いかにメンバーが気持ちよく仕事に取り組めるかを意識し、プロジェクトの舵を取りコントロールすることが大切です」

心がけていることは?

「営業として常に意識していることは、お客様の要望プラスαを実現することです。今はまだなかなか思うようにいかないことも多いですが、経験を積み、これからもこの意識は忘れずに頑張りたいです」

— やりがい

「弊社はスピード感を重視しています。それには私たち営業が日程をう

まく調整する力が必要になります。お客様の期待値を上回る納期・品質の製品を納品できたときに一番のやりがいを感じます」

— なるためには

「営業に必要な資格はありません。必要なスキルもありません。誰かをびっくりさせることや、サブライズが好きの人に向いていると思います。たとえば、恋人の誕生日にちょっとした演出をするとか、誰かが仕事をするうえでも大切だと思います。人によるこぼれると自分もうれしいですもんね!」



18歳 工業高校でクラスメイトと一体感をもって行事に取り組み、友情を育む。  
19歳 愛知工業大学経営学部でスポーツマネージメントについて学ぶ。  
27歳 クライアントの要望に対し、プラスαの提案を実現できる営業マンとして活躍中!

先輩のインタビューをもっと見た方は、WEBサイトへ!  
<http://amb100search.com>



お客様の暮らしのお困りごとを、  
約4600社ある加盟店と連携して解決。



三谷 りん菜さん(2000年生まれ)  
至学館高校 出身

シェアリングテクノロジー株式会社  
名古屋市中村区名駅1-1-1 JPタワー名古屋19F  
<https://www.sharing-tech.jp/>

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→暮らしの困りごとを対象としたWEB事業を展開する企業に就職→電話受付事務

— 学生時代

「至学館高校の家政科だったので、自分で衣装を作る授業があり、3年の最後にファッションショーをしたことが思い出に残っています。当時は将来の夢がはっきり決まっていなかったため、高校では料理や裁縫などいろんなことを学びました。進学するか就職するかもギリギリまで悩みました。最終的に就職を選択し、自分のコミュニケーション力をいかした職業を探して見つけたのがこの仕事。服装や髪型も自由で、シフト制で働けるところにも惹かれました。習い事にも通えるし、自分らしい働き方ができると思い、暮らしのお困りごとを解決する『生活110番』などのWEBサービスを展開するシェアリングテクノロジーに就職しました」

— 仕事について

「研修期間は約3ヶ月。正しい敬語や丁寧語の使い方、電話対応について学びました。150種類以上あるお困りごとの中で、最初に対応するのは、ハチの巣の駆除やガラスの交換などヒアリング項目が少ない簡単な案件から。経験を積み、徐々に木の伐採や電気工事など対応できる種類を増やしていきます」

最初「苦労したことは？」

「私はあまりパソコンを使ったことがなかったので、操作方法を覚えるのに苦労しました。あとは、電話のみの対応でお互いに顔が見えないので、声色のみで相手に私の印象を判断されてしまいます。録音した音



声を聞いて改善点を先輩と相談していい対応ができるように勉強していきました。それ以外は特に苦労したことはありません。上下関係の厳しさを心配していたのですが、先輩も上司もフレンドリーな方が、先輩も働いていて楽しいですよ。現在の仕事内容を教えてください。」

「お客様からのお困りごとを、約4600社ある加盟店と連携して解決する仕事です。お客様からお困りごとの電話をいただいたら、どんな状況なのか場所、予算、何を希望しているかなど詳しくヒアリングし、条件にマッチした最適な専門業者を紹介いたします。現在3年目で先輩を指導する立場にもなり、新卒社員に受付の仕方やそのほかの業務についての指導もしています」

— やりがい

「対応完了後、窓口へ届いたお客様の声が社内でも共有されるんです。そのお客様の感謝の言葉にやりがいを感じます。あとは、私が指導した後輩が仕事を覚えて成長していく様子を見るのもやりがいのひとつ。先輩が私にしてくれたわかりやすい指導や表現の仕方を後輩にも伝えていきたいです」

— なるためには

「特に必要な資格はありません。電話越しにはなりますが、いいのになさしく対応できることが大事な仕事です。顔が見えない分、しっかり詳細を把握してコミュニケーションをとる必要があります。学生時代に地域のボランティアに参加するなどして、いろんな世代の人と話すきっかけをたくさんつくってください。電話では本当に幅広い世代の方に対応することになりますよ。学校内でも先輩や先生といっぱいお話をしておいてください。ありがとうございました。」



自分探

- 18歳 将来の夢が定まっていなかったため、料理や裁縫などを幅広く学ぶ。
- 19歳 シェアリングテクノロジーに就職。研修後、さまざまな電話対応を経験。
- 21歳 現在は先輩を指導する立場に。先輩から教わったことを後輩に伝える。

先輩のインタビューをもっと見た方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>

